

第24回 2019年 ミニ教研in東京のご案内

年に1度の全国教研だけではもったいない、夏にも集まろう！ということでミニ教研をしています。今年は東京に集まります。どうぞご参加ください。

1. 期日 2019年8月18日(日) 13:00~20日(火) 15:00(2泊3日、後泊あり)、
1. 場所 18日 立川ホテル(立川市曙町1丁目12-23 TEL042-526-2021)
(立川駅北駅「南口」から約5分)
19日 三多摩労働会館(東京都立川市曙町2丁目15-20 TEL042-524-2594)
(立川駅[北口]から徒歩約2分)
宿泊 18日(日)・19日(月) 立川ホテル
3. 費用 約1.5万円+交流会飲食代 18日・19日会議室代
フィールドワーク代(約3,000円)・研修のみ:1,000円
4. 内容
 - (1) 記念講演: 1. 「いのち論『痞』という病から」最首悟さん(和光大学名誉教授)
2. 「持続可能な社会のための技術はいかにあるべき」井野博満さん(東京大学名誉教授)
(柏崎刈羽原発の閉鎖を訴える科学者・技術者の会代表)
 - (2) 現地報告: 砂川闘争・伊達判決に学ぶ
 1. 「伊達判決に学ぶ」(仮称)内田雅敏さん(弁護士)
 2. 「高校生のとき砂川に来たことが人生を決めた」島田清作さん(元立川市議会議員)
 - (3) 問題提起: 山口幸夫さん(原子力資料情報室)
 - (4) 実践報告とその検討、実験紹介・実習
 - (5) フィールドワーク(砂川学習館・横田基地・五日市憲法発祥の地を巡る等)
5. 後援 東京都高等学校教職員組合・東京都公立学校教職員組合
6. 事務局 小泉 信三 TEL・FAX 0235-24-1482(自宅) e-mail: kkoizumi@beige.plala.or.jp
※申込締切りは第1次6月30日、最終7月30日

----- キ リ ト リ -----

ミニ教研2019in東京 参加申込書

名前			勤務先 よろしければ		
住所	〒				
TEL FAX			E-mail		
18日(日) 宿泊		19日(月) 宿泊		20日(火) フィールドワーク	
レポート発表					
有 無		有 無		有 無	
有 無		有 無		有 無	
18日(日)到着時刻		時 分		20日(火)出発時刻 JR立川駅	
		時 分		時 分	

ミニ教研とは？(今までの経過)

日教組全国教研理科分科会は、論議が活発になり例年目ざましい提言がなされ討論も白熱し、「基礎・基本」の区別、「ハードパスからソフトパスへ」で象徴される実践のめあてもかなり明確になり、これまでの論議を踏まえた実践報告が多くあり、「地域でどう生きるか、地球市民としての意識をどう培うのか、ソフトパス・循環型社会の実現へ」の論議が深まってきました。これは、分科会の討議の積み重ねから生まれたものです。また、各県への還流もできてきました。

しかし、本教研だけでは片付かない、時勢も切迫しているという思いから、自前のミニ教研を…ということになり、それがもう 24 回を迎えます。ミニ教研は本教研では時間的に困難な「科学論」「現代の教育課題」「科学のあり方論」「日本のあり方」などをめぐって、次代をリードする指針に成長しつつあり、当面の明日の授業にとらわれながらも、目を一足先にむけて歴史と世界情勢にまで踏み込むことで、実は最も切実な授業の課題をほりさげ、容赦なく押しよせてくる教育への干渉をはねのける勇気と指針の元をさぐってきました。

残念ながら私たちが懸念した原子力発電所の爆発事故が起こってしまい、事故が収束せず、原因もはっきりしない中、意図的な風化が企図され、原発の再稼働が強行されました。「足尾銅山鉍毒事件」「水俣病」「オキナワ」「フクシマ」等国策の名の下、人権が奪われて市民・住民は苦しんでいます。また、経済格差が拡大し、貧困の連鎖も重大な問題になっています。日本の政治は、そして教育はどこに向かっているのでしょうか。改めてこれからの日本のあり方、日本の教育・理科教育が問われているのです。

2013「フクシマ」、2014 沖縄、2015 の足尾、2016 年横須賀、2017・2018 年の開催は被爆地長崎・広島と過去の水俣開催も含めミニ教研は、日本の根本的なあり方を考える地で開催し、理科教育・日本の教育、日本のすすむ方向を論議してきました。

学習指導要領が改悪され今年から小学校で道徳が実施され、来年からから中学校でも実施されます。

今回はお盆が終わった 8 月 18 日から東京で開催します。「日米合同委員会の密約が立憲主義を破壊している！」(伊達判決記念 58 周年集会・報告)と指摘されている「砂川事件」。東京地裁から最高裁への「跳躍裁判」で「自衛隊を違法とし全員無罪とした伊達判決」を葬った「砂川闘争」の地・立川市砂川学習館・横田基地・五日市憲法発祥の地あきるの市等の FW を実施します。この集まりは、まったくの自弁自前が自慢です。志のある方ならどなたでも熱烈歓迎です。一人でも多くの皆さんが集い、理科や学校教育、市民運動を通して私たちに何ができるのかを共に学び合い、実践の方向を確かめ深め合う機会にしたいと思っています。研修会・記念講演のみの参加でも結構です。

呼びかけ人(日教組全国教研理科分科会 現・元共同研究者、司会者、担当執行委員、現地の方等)

神 貴夫 白井善吾 盛口 満 藤岡忠浩 米田雅人 市村猛樹 大洲壮一朗 新 育大
細見隆昭 山口幸夫 最首 悟 矢野川清 高田英雄 小泉信三

ここ数年のミニ教研

回	開催県	期日	内容(記念講演など)	フィールドワーク
23	広島	2018.8.6 ～8	広島における教育の自由(山今 彰)/記憶を受け継ぐー市街地歩き『地獄』目撃ー(江種祐司)/今、あらためて問うー私たちは何のために教えるのか(山口幸夫)	広島大本営跡、縮景園、袋町小学校平和資料館 中国電力安野発電所(中国人強制連行)
22	長崎	2017.8.9 ～12	地球被ばくのはじまりの半世紀(豊崎博光)核のない世界を地域から(西岡由香)ソフトパスをすすめるために(山口幸夫)	岡正治記念館、原爆資料館等、軍艦島・資料館等 大牟田三池炭鉍関連
21	神奈川	2016.8.9 ～11	横須賀基地の街をあるきつづけて(新倉裕市史)/原発震災とソフトパス(山口幸夫)/いのちがわかる(最首悟)/横須賀の朝鮮人強制連行について(小原慎一)	貝山地下壕等(原田章弘) 横須賀軍港めぐり